



桜と仲よし像(当院ソーシャルセンター前)

「新たな出発」医療法人化のご報告

京ヶ峰岡田病院は、このたび令和4年4月1日をもちまして「医療法人^{ほうせいかい}芳精会 京ヶ峰岡田病院」として法人化したので、ここにご報告申し上げます。医療法人となった4月1日には、幸田町の猿田彦三河神社の宮司さまにお越しいただき、神事を執り行い、職員一同清々しい心持ちで新たなスタートを切ることができました。

当院は、昭和13年4月、岡崎市康生町において岡田弘が有床診療所を開設したところから始まっております。その後、岡崎市羽根町への移転とともに精神科病院となり、昭和43年に現在の地に移り、病院の東側にある日本武尊に纏わるロマンあふれる霊峰「京ヶ峯」の名をいただき、「京ヶ峰岡田病院」として歩みを始めました。

開設時からの病院の基本理念は引き継がれ、常に患者さま、地域のみなさま、ここで働く職員、みんなが喜んでくれる病院を作ろうとの想いを大切に、常に地域精神科医療への貢献を微力ながら、心がけてまいりました。令和3年2月に新病棟「中央総合棟」を建設したことが、個人病院としての最後の大きなプロジェクトとなりました。

この度の医療法人化を契機に、法人としての公益性を重く受け止め、職員一人ひとりが責任をもち、患者さま、地域のみなさまに信頼していただけるよう全職員で力を合わせて精進してまいりたいと存じます。医療体制の一層の充実化を進め、より質の高い医療をご提供していく努力を怠ることなく、職員の医療知識・技術のさらなる向上にも努めてまいります。

80年以上の歴史がある精神科病院とはいえ、医療法人としては誕生したばかりです。より良い医療機関として、社会の一員となれますよう、みなさまよりご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

医療法人芳精会
京ヶ峰岡田病院

理事長・院長
岡田 庸男



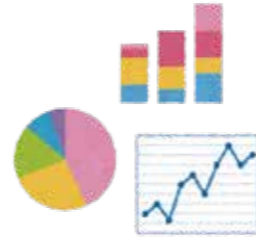
基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために
～ For the Patients ～

投資と依存症

医局 塚田 裕太

なげなしの金を担保に、株を買う。買ったとたん、みるみる値を下げていく。-0.1%。
-0.3%。-0.5%。5千円。1万円。1日頑張っただけのバイト代が消えていく。胃がキリキリ
してくる。吐き気がする。このまま永遠に下がったらどうしよう。助かるには切るしかない。
1万円を失うのは辛い。でもここで切らないと全てを失う。決済ボタンを押すだけでいい。
高いうちに売れ。売れ。やっと売れた。



すると案外下がらない。おかしいな。思っているうちに値はどんどん戻し、底なし沼に思えたチャートは激しく反発し、V
字を形成する。株価はあっという間に上昇し、かつて自分の買ったところよりはるか上。+4%。本当は数万円得した。な
のにマイナス1万円。何で切ってしまったんだろう。上がっていく株価を黙ってみている時間が耐えられない。損を取り
返さなきゃ。また買うしかない。

そして買った株は持ち越すことになり、気になって夜も眠れず、欧州や米国市場を凝視することになる。時には土日に
市場なんて開いてないのに気になるがあまりニュースやSNSを漁ったりするのだ。何も手につかない。こうなるともはや
依存症だ。



これは2014年、アベノミクスのまだ初期。まだ20代だった私はバブルの到来を予
感し株を始めた。そんな頃の話だ。最初はしっかり勉強して上がる根拠のある
取引をしたつもりでも、いつのまにか依存症になった挙句、損している。それが

畏なのだ。投資の本質はお金を奪い合うゲーム。ヘッジファンドや「アルゴ」という自動売買プログラムが、個人投資家のこ
ういう狼狽した取引を狙って利益を得ているのだ。

ギャンブル・ゲーム・SNS。人間の報酬系をダイレクトに刺激されると、一部の人は抗うのは困難だ。自分がこのような状態
から脱却したのは、あまり医学的でない話で恐縮だし、依存症に悩む本人やご家族には参考にならないかもしれないが、
「やばい」って時は、スマホとPCの電源を落としたり、ケーブルを断線させたり、時にPCモニターを取ってぶっ壊したりして
いる。実際、狼狽して数十万数百万損するくらいならPCやスマホをぶっ壊した方が遥かに安くつく。文字通り断腸の思い
だが、本能を揺さぶる依存症にはこれくらいの気持ちがないと抗えない。

そんなこともあり私の生涯収支はプラスとなっているが、そもそも社会全体
が依存症だ。1970年代に金本位制を脱却してから、紙幣に価値がないに
も関わらず、金を刷りまくっている。リーマンショックも、コロナ禍も、すべてを
金融緩和で切り抜けてきた。昨年末より急激にインフレとなり、人類はその
ツケを払う時が来ているようだ。



院内研究発表会のご報告

当院では医療サービスのさらなる向上と、よりよい職場作りのために、職員
がテーマを設けて研究を行い、その研究結果を発表して院内で共有して
います。コロナ禍ということもあり、オンラインでの開催となりましたが「第19
回院内研究発表会」のご報告を掲載いたします。

開催日：2022年2月14日(月)
担当：看護部教育委員会・医療研修委員会

[発表演題]

No.	演題	発表部署
1	自発的な発語のない患者の意思表示支援を通して	葵2病棟
2	開放病棟における患者への関わり ～危険回避に関わる情報収集とは～	旧葵3・4病棟
3	慢性期患者へのIADLへの一歩を目指して ～金銭自己管理を通して～	中央4病棟
4	メタ認知トレーニング やわらかあたま教室 ～プログラム導入とスタッフの認知度の向上～	中央5病棟
5	新厨房での衛生管理	栄養部

今回の研究発表は、病棟から4題、栄養部から1題の発表でした。どの演題も、患者さまの治療や看護サービス向上を
考え、患者さま一人ひとりに合わせた日々の対応についての研究発表でした。



視聴した職員からは、「自身のことに置き換え、明日からの業務につなげていきたい」「さらに
詳しく聞きたい」「対面の発表だと、もっと発表者の思いが伝わったと思う」との感想が聞かれ
ました。次回は、コロナが収束し、活発な意見交換ができることを願っています。

第3回

京ヶ峰ふれあいまつり 川柳 第一弾

- ◆ たくさん応募作品の中より一部を、
三回にわたって紹介したいと思います。
- ◆ 玄関で 頑張れという 母の顔 高校生
- ◆ 居心地が とても素敵な day care October 小学生
- ◆ かえつたら てあらいうがい わすれずに 小学生
- ◆ 夢叶う 子犬との暮らし 大変だ A・i
- ◆ メンメント コテメンドー ああしんど 小学生
- ◆ 京ヶ峰 ここにくらすと いい気持ち 小学生
- ◆ いつになる? マスクのいらぬ生活は ！・A
- ◆ 人と人 かんかくあけて 話そうね 小学生
- ◆ もう時間?! 油断しすぎて 遅刻する 高校生
- ◆ 朝寝坊 眉毛を描けば あとマスク MOGU MOGU
- ◆ 守りたい 君の心と 笑い声 あゆのすけ
- ◆ あいさつは えがおのたねを まいている 小学生
- ◆ 肌の色 違えど心は 皆同じ 高校生
- ◆ コロナかで どこも行けない 休みの日 小学生
- ◆ 絵選挙 変わらぬ政治家 空高く 未知
- ◆ 悲しみの 降る滝を越え 龍になる おめめ
- ◆ けんかをし あしたになると なかなおり 小学生
- ◆ 学校は みんなでいれる いこいの場 小学生
- ◆ リハビリも 石の上にも 三年よ… スマイルちゃん 小学生
- ◆ 1日を 楽しく生きよう のんびりと 小学生
- ◆ コロナかは もうすぐ終わる そうねがう 小学生



行事報告

新春書初め展覧会



力作
勢揃い!

■ 3月18日(金)~31日(木)

1月に開催予定でしたが延期となり、患者さん、職員の書初めと絵葉書合計431点が京ヶ峰ホールにて展示されました。久しぶりに筆を手にした方もおり、いろいろな力作を見ることができました。

デイケアお花見



だるまさんが
転んだ!

■ 4月4日(月)

雨の予報を吹き飛ばすほど天気が良く、暑いくらいの陽気でした。気持ちの良い青空の下で日向ぼっこするメンバーもいました。最後に「だるまさんが転んだ!」をみんなで言い、普段見られない様子を見ることができ、楽しい時間となりました。来年はコロナウイルスが収まり、院外に行けるといいなと思います。

第17回 京ヶ峰倶楽部展 「作品募集のお知らせ」

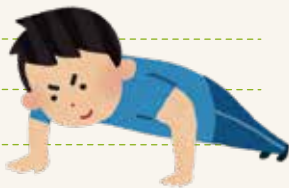
夢

6月に開催予定の第17回京ヶ峰倶楽部展に出展する作品を募集しております。今年のテーマは「夢」。絵画・書道・写真・手工芸・陶芸など、出展をご希望の方は当院リハビリテーション部へご連絡ください。

おすすめ
コーナー

筋トレ...

私は趣味として筋トレをしています。自宅で筋トレをしており、時間が空いた時には走ったりしています。無酸素運動後に有酸素運動をすることで、脂肪燃焼の効果が上がるそうです。今ではトレーニングをする前に比べ、筋肉増加で体重が増え、体つきも良くなった気がしています。食事管理が難しく、今はそれが一番の課題です。トレーニングをすると免疫力がついて体調も崩しにくくなり、脳が活発化しストレス解消にも効果があるそうなので、



健康維持としてはたくさんの方が効果があります。キックボクシングやランポリンなど楽しくトレーニングできる施設も増えてきており、女性の方でもトレーニングを行っている人が増えています。ジムに行ったりしなくても、身体ひとつあれば手軽にどこでもトレーニングできるので、外出が難しい今の時期にはお勧めできます。



中央3階病棟 倉橋 竜規

(次号は外来の上田さんが担当します。よろしくお願いいたします。)

編集後記

桜の蕾が膨らみ始めたころ、息子の好きな色が変わり、春の転園に必要な持ち物を揃えるのにあたふたしました。息子が嬉しそうに選んだ持ち物に、元気で楽しく登園できますようにと、想いを込めて名前付けしています。期待と不安が入り混じる春になりそうです。

広報委員 杉浦

